

種 ま き 通信No.52

いつも市民派 ずっと無党派
小林じゅん子 議会だより

事務所 〒399-8301長野県安曇野市穂高有明2104-10
Tel. 0263-83-4387 (090-4546-3496) Fax. 0263-83-4938
http://junko.voicejapan.net/ メールはjunko@childnet.ne.jp



発行日：2015年10月31日
発行者：小林純子

◆安曇野市議会9月定例会小林じゅん子の一般質問◆

Q1.「あづみん」旧5町村の運行エリア見直す時期ではないか
Q2.M産業・防音壁の問題 県は結論に向け匙投げてしまったか

Q1【小林質問】 運行から8年が経過する今年度、安曇野市地域公共交通会議や地域公共交通協議会では、あづみんの利便性を向上させるため新たな運行形態などについて研究を開始するということになっているが、その具体的な内容は。

【政策部長】 具体的な改善策の検討としては、車両配置の適正化や予約システムの改善が中心であり、あづみんの運行システムの根幹をなす共通乗合エリア等の見直しについては非常に高いハードルがある。予約がとれなかった等の状況を的確にとらえるため、運行管理を委託している市社会福祉協議会にデータの収集をこの9月より依頼した。当該データによりまして需要を適切に把握し、むやみに車両をふやすことなく応援便の運行で対応できるかどうかを検討し、改善可能な場合には、なるべく早期に対応をしていきたい。

【小林質問】 あづみんのシステムは共通エリアというものを設けて、それを我慢することによって多くの人たちの利便性、特に定時性を確保しているシステムだと思うので、共通エリアをなくせとは言わないが、エリアの見直しはぜひ必要だと思う。エリアの設定が合併前の旧5町村のままになっているため、堀金地域だけが30分、その他の地域はおおむね1時間以内での運行ということで差が大きい。堀金周辺にももう少し運行エリアを広げるとか旧町村の枠を外せば、全体として時間短縮の利便性が向上するのではないかと。

【政策部長】 エリア設定はどこで線を引くかということが非常に難しく、タクシー事業者の理解が大前提ということもあるが、現行システムをさらにいいものとしていくため、各協議会等で慎重に検討していく。



【小林質問】 現在運行している福祉バス、これをあづみにシフトしていく考えはないか。

【福祉部長】 福祉バスの利用者の現状は、穂高老人保健センター行きは1日平均約25名の方が利用しているが、それ以外の運行については1日平均の利用者はいずれも1桁台。利用者も固定している。国土交通省の通達で貸し切りバスの料金制度が新しくなり、今年度よりマイクロバスを使用する福祉バス運行の料金が約30%値上がりした。このような状況の中、福祉バスは「あづみん」への方向転換を図らなければならない時期に来ているのではないかと考えている。

Q2【小林質問】 増田建設産業（M産業）が行おうとしている廃棄物処理施設・防音壁の補強工事について何う。

【市長】 7月中旬に県はM産業に対し、最終段階での構造計算書の再提出と補強・補正工事の安全性の確保と確認を求めているので、この審査が終了すれば、速やかに補強、補正の工事に着手するものと期待している。

【小林質問】 県の資源循環推進課と建築指導課が水平震度0.2について連携して検討がなされた経過がない。構造計算書等の再提出にあたり「壁の補強工事に当たって水平震度0.2に適合させる」という大前提ではないのか。

【市民生活部長】 市はその点について確認していないが、資源循環推進課とは

安曇野市議会委員会条例の一部改正 数で押し切る

9月定例会最終日に急遽「委員会条例の一部を改正する条例」の議員提案があり、賛成多数で可決（反対したのは無所属の4人）。

一部改正の内容は、これまで4つあった常任委員会を3つにするというもの。議会運営の根幹に関わる重要な内容です。

反対した4人は、9月18日に「委員会条例の改正について十分な議論を求める申し入れ」をしました。議会を運営するルールを変えるについては、少数意見を最大限に尊重した議論が大前提であり、可能な限り全会一致で決めていくよう求めたものです。

この問題が議会全体の課題として認識されたのは、9月定例会開会直前の議会全員協議

安曇野暮らし なんでも相談室

個人的な困りごとの中にも公の問題が隠れていることがあります。身近な話題・課題を持ち寄って、みんなで考えましょう。お気軽にご参加ください！

～小林じゅん子の
議会報告もあります～

〔夜の部〕11月13日(金)19:00

※昼の部 11月16日(月)13:30

場 所：市民ネット情報室

（薪ストーブの店・地平線倶楽部内）

〒安曇野市穂高有明9972-1
問い合わせTEL/83-4250（市民ネット情報室）

水平震度0.2の基準の中でやってきた。建築基準法との関係では、市がどうこう関与できる立場ではない。

＊このあと、市民生活部長から事細かに関係法令について説明がありましたが、過去の一般質問で答弁したこととほとんど変わらず、とりわけ「市の一般廃棄物の処理計画との整合性」、「増田建設産業はここ4年近く、一般廃棄物の木屑や廃材の処理をしていない」、「不正の手段により許可または変更の許可を受けたときは許可を取り消す」、「業務に関し不正または不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足る相当の理由があるものは、欠格要件により許可取り消しに該当する」という私の指摘には、まったく噛み合わない答弁に終始し、残念ながら市の考え方に進展があったとは言い難いものでした。

会でのこと。議会運営委員長から「会派で検討し意見集約するように」と報告、説明があり、ここで初めて関連する事務局案が出てきました。議長からは「今9月議会で改正案を提出したい」との意向までもが示され、こうなると無所属の4議員以外からは異論なく、会派での検討、意見集約、改正案の提案へと流れるがごとく進んだのでした。

ここで強調しておきたいのは、反対か賛成かの判断以前に「常任委員会を4から3にする」ことの議論が尽くせていないにもかかわらず、あたかも議長の「ツルの一声」で決まってしまうような、会派中心の議会運営に異議ありということなのです。

種まき通信No.52

「種まき通信」の郵送を希望される方は電話・メール等でお申し込み下さい。
◆「種まき通信」は年4回発行しています。そのうちの1回は新聞折込にてお届けしています。毎号の郵送をご希望の方はお申し出ください。

この数字は？

435億9,485万円

2014年度一般会計の歳入決算額

一般会計の歳入決算額は435億9,485万円
で、前年比7.2%の増。歳出決算額は423億
8,342万円で、前年比6.8%の増。形式の収
支額は12億1,142万円。繰越財源を差し引
いた実質収支額は7億8,097万円。特別会
計、公営企業会計等も黒字決算となった。

歳入の27.7%を占める市税の決算額は
120億7,011万円で、前年比で4.8%の増。
地方交付税は111億8,685万円、前年比で
1.6%の減額であった。歳入決算の18.4パー
セントを占める市債は、80億2,260万円を
発行し前年比は69.2%増であった。内訳は
約57億8,000万円が合併特例債で、大きな
ものでは本庁舎建設費として27億1,490万
円を発行した。臨時財政対策債は、発行可
能額を2億7,000万円ほど下回る17億円にと
ども発行残高の抑制に努めたが、普通会計
の市債残高は10.4%＝39億3,886万円増加
し、合計で416億6,570万円となった。

歳出決算では民生費、福祉関係の決算額
が一番多く全体の28.3%＝119億8,984万円
を占めた。2番目が総務費で18.2%＝77億
3,091万円。性質別で見ると、本庁舎の建
設事業、保育園の建設事業、穂高会館の大
規模改造、豊科公民館改修などの事業実施
により、投資的経費が全体の22.1%＝93億
7,153万円を占める結果となった。

東日本大震災を機に合併特例債の発行期
限が5年間延長され、被災地でもない安曇
野市においてはハコモノ建設の流れが助長
された感が強い。有利な合併特例債といえ
ども借金は返さなくてはならず、そもそも
国が交付税措置するといっても原資は私た
ちの税金。モノをつくれれば維持管理の経費
が必ず発生する。少子高齢化や人口減少に
よる税収減と、それに反比例して膨らんで
いく社会保障費を考えると、黒字決算だか
らと安心していただける財政状況ではない。

▼安曇野市議会ホームページより関連部分の抜粋

					賛成：○ 反対：× 退席：退 議長（可否同数以外採決に加わらない）																								
議案等 番号	議案名	議員名	議決日	議決結果	議席番号																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
議員提出 第13号	安曇野市議会委員会条例の一部を改正する条例	9/28	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議
陳情 第6号	「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」案の廃案を求める意見書を政府に送付する陳情書	9/28	不採択	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	議

豊科の南部総合公園に総合体育館建設、整備費28～38億円

公共施設白書（平成25年4月）によれば、これまでと同様に施設を作るとは財政的に困難
施設の廃止、統合、縮小等も含む公共施設再配置計画と矛盾するのでは
大規模公式スポーツ施設？健康スポーツのための身近な体育館施設？市民ニーズはどっち！？

市はこの6月に「安曇野市公式スポー
ツ施設整備計画」をまとめ、豊科の
南部総合公園に「安曇野市の総合体育館」
を整備する方針を示しました。

9月議会では地元選出の竹内議員がこの
計画について質問し、宮沢市長は「合併特
例債期限内に総合体育館の整備を推進す
る」と答弁。「安曇野市の総合体育館」と
して国体競技会レベルの利用を基本に、
28～38億円の事業規模を想定。関連予算
は12月議会に補正予算を組むとのこと。

となると、もうこの計画は改めて市民
に問うことなく進めていくつもり
か、私は大いに疑問を感じています。

なぜならば、計画策定に先立って実施し
たアンケート調査は、スポーツ団体と施設
利用者を対象としていたので、回答の傾向
として大きい規模の充実した設備の体育館
を望む声が高く、計画作りのための委員会

も「公式スポーツ整備計画策定委員会」と
なり、その方向で検討がなされてきたもの
だからです。

一般市民にとっては、体力づくりや健
康増進、趣味のスポーツのための身
近な体育館施設が必要だという声を多く耳
にします。市民ニーズはそこにあると私も
思うのですが、どうでしょうか。また、市民
がよく知らないうちに、こうした大型事業
がどんどん進められていくことについて、
市民のみなさんはどう感じておられるで
しょうか。

大きな施設を作れば、後々の維持費も相
当なものです。事業費
28～38億円というア
バウトさと、維持費の
概算さえ出ていないな
か、これで決定とは納
得がいきません。



安曇野市一般会計補正予算（第3号）ここに注目

●地方創生先行型交付金事業

安倍政権が「地方創生」という言葉を使い
始めてどれくらい？もう2年ほどになるの
か。このところ猫も杓子も地方創生を叫び、
市長は事あるごとに「地域間競争」を口にする。
何をどうすればいいのか戸惑ううちにも
「地方創生先行型交付金事業」が予算化され
ていく。企画総務費に都会からの移住定住受
入体制を整える経費として437万円、保健衛生
総務費に、不妊治療費の助成として390万円、
土木総務費に、建設業技術者資格取得費補助
金交付事業として150万円など、合計1,000万
円を追加。

●学校給食会計の監査を専門家へ

今年3月の一般質問で給食費の公会計移行
の検討と、年間5億円を超える市の学校給食
会計の監査がPTA役員や校長に任されており
負担が大きい現状について質したところ、
外部から会計の専門家を加えること等を検討
していくために、この9月議会の補正予算に
監査資料作成20万8千円が計上された。

●地下水循環構造の見える化

水資源対策費については、水環境基本計画
策定のために、地下水循環構造の見える化に
関する調査業務を行うための費用として、
1,500万円を追加。

*今国会最大の焦点となっていた安全保障関連法案について、市議会9月定例会でも6月議
会に引き続き、市民からの陳情提出（「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」
案の廃案を求める意見書を政府に送付する陳情書）があり、審議を行いました。

*9月19日には参議院の本会議でこの安保関連法は可決、成立しました。市議会においては
9月28日の定例会最終日に1時間にも及ぶ賛成・反対の討論が行われ、小林じゅん子もこの
陳情に賛成しましたが、残念ながら下記の一覧表のように不採択となりました。